

## 市民ランニング界での貢献を称える 第15回ランナーズ賞受賞者決定

市民ランニングの普及、発展に貢献した人物、団体などを表彰する第15回ランナーズ賞(主催:ランナーズ賞運営委員会)が10月1日に決定した。

今回の受賞は、愛走フレンズ、福澤潔さん、貝畑和子さんの2氏1団体。受賞者の詳細は、雑誌ランナーズの2003年1月号で紹介。また、ランナーズ賞授賞式は12月14日(土)に都市センターホテル(東京・赤坂)で行われる。



### 盲人ランナーを10年に渡り サポートしてきた伴走ボランティア 愛走フレンズ

ボランティア伴走組織「愛走フレンズ」が、島根県出雲の「くにびきマラソン」(毎年2月11日、建国記念日に開催)を舞台に、活動を始めて10年。一番最初の伴走は、10kmを希望する盲人ランナーの申し出を叶えるため、5人で2kmずつリレーしながらゴールまで導いたというもの。以後、伴走の他、送迎や大会参加に関わる作業の手助けも行う。愛走のアイはeye(目)にもかけているのだとか。

### ベースアドバイザーを始め 市民ランナーのための様々な活動に貢献 ミズノランニングクラブ監督 福澤潔さん(47歳)

活動14期目を迎えた「ミズノランニングクラブ」の監督を、初代から担う福澤潔さん。ミズノ主催による「市民ランナーによる市民ランナーのためのクラブ」結成のために、10名でスタート(当時はクラブランバード)。以来、年々活動の輪を広げ、現在は32名のメンバーで、全国各地のマラソン教室や、ベースアドバイザー等を行っている。大会でも練習会でも、福澤さんの周りには初対面、既知を問わず、常にランナーが集まってくるのは、その人柄の現れだろう。



### 病弱な少女からウルトラマラソンの女王へ 貝畑和子さん(49歳)

幼い頃は体育の授業も受けられない程病弱だった貝畑さん(写真左)。7歳の次男を白血病で失うことで、自分自身の健康を強く意識し、ランニングを始めた。2km、5kmとコツコツ積み上げ、4年後、ついに大阪国際女子マラソンに出場、16回連続出場記録を更新中だ。さらに長い距離にも挑戦し、数々のウルトラマラソンやそれ以上の超長距離で、多くの功績を残す。今年は71日間で4961kmを走るラン・アクロス・アメリカの女子1位に輝いた。貝畑さんは、どんな長い距離であっても常に「楽しんで走ること」がモットー。家族や自然をこよなく愛し、今日も五体満足であることに感謝しながら走る。

### ランナーズ賞とは――

市民ランニング界に広く貢献する方に贈られる賞で、長年に渡り、市民ランナーの模範的生活を送り、健康であることの喜び、ランニングのすばらしさを多くの人々に伝え、また仲間を作り、さらに地域の社会体育を考えていく、そのような地道で有意義な活動をされている人、団体、その他、有形無形を問わずに表彰するものです。1988年の第1回以降、これまでに18団体、31個人に贈られてきました。

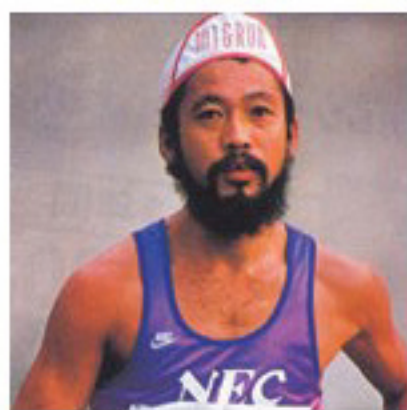
選考委員長は小野三嗣氏(東京学芸大学名誉教授)。3回に渡る検討会議を経て、その年の賞が決定されます。一般公募制とし、毎年、雑誌「ランナーズ」の誌上やインターネット「RUNNET」にて募集し、受賞者には正賞のレリーフと、副賞として賞金30万円が贈呈されます。

### 過去にランナーズ賞を受賞した主な方々、団体



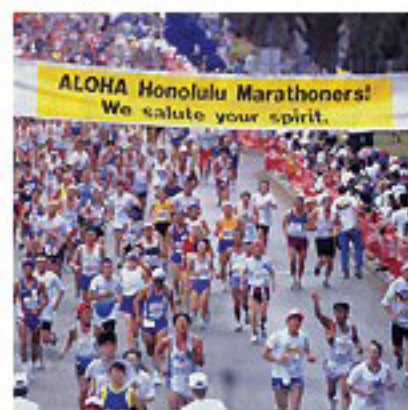
第3回受賞  
山田敬蔵さん

1927年、秋田県出身。52年、ヘルシンキオリンピック出場。53年、ボストンマラソンで優勝。日本盲人マラソン協会の設立に貢献し、現顧問。今も故障や病気が知らずで走り続けており、10kmからフルマラソンまで毎年およそ40大会に参加している。



第7回受賞  
佐々木功さん

LSD(ロングスローディスタンス)の提唱者。このトレーニング法で浅井えり子選手を育て、著書「ゆっくり走れば速くなる」でその理論とハウツーを広く市民ランナーに伝えた。94年にガン告知を受け、闘病生活を続けていたが、翌年3月、惜しまれつつ逝去。享年52歳。



第8回受賞  
ホノルルマラソン

1973年、心臓病患者のリハビリと予防を目的に、心臓外科医・スキャフ博士らの手で、第1回大会を開催。時間制限が無く誰でも走れること、完走者全員が称えられることやボランティアの温かい支えが評判となり、年々日本人参加者が増加。市民ランナー憧れの大会となった。



第10回受賞  
柳川春巳さんと伴走者

1956年生まれ。小児緑内障のため7歳で視力を失う。92年、バルセロナ・パラリンピックで、マラソン全盲の部6位。96年アトランタでは、2時間50分56秒で日本最高を更新し金メダルを獲得、全国に感動を与えた。鍼灸院を営む傍ら講演活動も行う。



第13回受賞  
高石ともやさん

1941年北海道生まれ。シンガーソングライター。30歳でアメリカ・カリフォルニアに渡り、ランニングに出会う。77年以降ホノルルマラソンに25回連続出場。トライアスロンやウルトラマラソンにも出場し、ランニングがテーマのCDも出している。